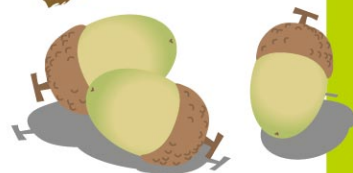




春

芽吹き、活動開始！ 植物や動物の、 春の目覚めと成長を観察しよう



どんぐりプロジェクト2019 は…

北海道の森のチカラと、そこで生まれるいのちのつながりを学び、円山のどんぐりや木のタネを植えて、未来の森を育てる人になりましょう。環境を守る知恵とパワーを身につけた、子どもレンジャーになりませんか？
年4回の円山動物園で行われるプログラムです。

今回のテーマは…

円山の森を歩いて生き物たちや、動物園の動物たちの様子を観察して、春の森の様子を感じてみましょう。
2016年の秋に植えたどんぐりが、この春にどこまで成長しているかもみんなで調べます。

開催日時 2018年5月11日(土) 10:00~15:00

お天気 晴れ・強風。ちょっと寒い

参加者 小学生 19名

講師 山本 牧 (もりねつと北海道)

協力 円山動物園職員・飼育員

プログラムレポート

●春の生き物たちの生存戦略

今日はいい天気。だけど風が冷たくてちょっと寒い。そんな中、19名のみんなが集まりました。まずは講師の山本さんのスライドショー。春の森、地面にはいろんな花が咲いているらしい。まだまだ寒いこんな時期に花を咲かせるのはなんでなんだろう？森で実際に見て考えてみよう。



●動物園の森へ。生き物たちとの出会い

動物園の森へ行こう！どんな生き物たちに会えるかな？丸太をひっくり返すと色々な生き物が出てきたよ。びっくりするほど大きなマダラコウラナメクジは、本来は日本に住んでいない移入種なんだって。その他にも木の下にはいろんな虫が住んでいて、寒くても見えないところには生き物たちが暮らしていた。スライドショーで見た通り、森の地面には花が咲いていて、森の中なのに日が当たってると思ったら、木の葉っぱがまだ開いていなかった。



●生き物豊かな動物園の森

小さな池はおたまじゃくしがいっぱい！みんなエゾアカガエルの子もなんだって。エゾサンショウウオも卵を産みに来るみたいだけど、今回は別のところから持ってきた卵を見せてもらったよ。木をひっくり返した時に親のサンショウウオも見つけたんだ！サンショウウオもカエルも、産卵が終わると、普段住んでる山に帰っていくんだって。池に住んでると思ってたよ。



裏面につづく





つづき

●は虫類・両生類館にて

カエルの子もやサンショウウオに会ったあとは、今回も動物園のは虫類・両生類館に行って飼育員の本田さんからいろいろなお話を聞いたよ。ここにはさっき見たエゾアカガエルもエゾサンショウウオも、北海道の両生類はみんないるんだ。何を食べているのかな、と思ったら、生きているコオロギをえさにしていた。生きてるえさをあげるなんて、びっくりした。



●育つどんぐりの子どもたち

午後には2016年に植えたどんぐりの育ち具合を見に行ってきたよ。もうすぐ3歳なんだけど、もう僕たちの腰よりも大きくなってた！100年経ったらどれくらい大きくなるんだろう？今年もこれから大きく伸びるんだろうから、どれだけの高さになるのか楽しみだ！



●春の動物たちを見てみよう

動物園のヒグマやオオカミ、エゾシカを見ながら歩いて帰る。春になって日差しがあったかいからか、なんだかみんなゆったりしてる。なんと、オスのシカの頭には角がなかった。毎年春に落ちて、また生えてくるんだって。よく見るとオスシカの頭には茶色くて丸い角が生えかけている。触ると柔らかいらしい。



●ふりかえり

部屋に戻って今日のふりかえり。春に寒い中咲いていた花は、他に競争相手がまだ少ない寒いうちに咲く作戦なんだと山本さんが教えてくれた。生き物はいろんな作戦を考えていないと、競争相手に負けてしまうんだなあ。今日はいろんなものを見たけど、やっぱり、エゾサンショウウオに会ったり、シマヘビを見つけた人もいたらしいけど、なによりマダラコウラナメクジの大きさと気持ち悪さにびっくりしたよ！それと、だんだん大きくなるどんぐりの木がどうなるのか楽しみ。次回は夏休み！どんな生き物に会えるかな？



おわり

次回のどんぐりプロジェクト2019

夏休みの自由研究も！！

夏の生き物たちはどうしてる？

食べる・育つ！

ざわめく生きものたちの夏の暮らしを追跡しよう

7/29(月)

※申込み締め切り：7/19(金)

10:00~15:00

- 集合時間 / 9:45 (受付開始 9:30~)
- 集合場所 / 円山動物園正門前 (動物園プラザ入口)
- 定員 / 先着 20 名 (小学 3 年生以上)
- 参加費 / 一人 500 円
- 持ち物 / お弁当、飲み物、天候に合わせた服装 (雨具、長靴など) 筆記用具、虫除け



お申込

「どんぐりプロジェクト2019」と明記の上、参加者全員の①郵便番号、住所②氏名(フリガナ)③年齢・学年④電話番号⑤メールアドレスを記入し、メールまたはFAX、ハガキでお申込ください。

メール csapmori@todock.coop FAX 011・671・5743

はがき 〒063-8501 札幌市西区発寒 11 条 5 丁目 10-1 コープさっぽろ基金事務局

※お申込の際にいただいた個人情報は、コープさっぽろからの資料の発送やご連絡のみに使用いたします。

メールはこちらのQRからもどうぞ





どんぐりプロジェクト2019

夏

食べる・育つ！ ざわめく生きものたちの 夏の暮らしを追跡しよう

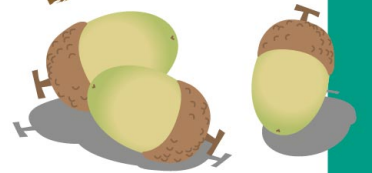


どんぐりプロジェクト2019 は…

北海道の森のチカラと、そこで生まれるいのちのつながりを学び、円山のどんぐりや木のタネを植えて、未来の森を育てる人になりましょう。環境を守る知恵とパワーを身につけた、子どもレンジャーになりませんか？
年4回の円山動物園で行われるプログラムです。

今回のテーマは…

夏の生きものたちはどんなふうにご覧しているのだろうか？動物園の森で虫たちを、動物園では動物たちとその食べ物について学んでみよう。もちろんどんぐりの苗もチェックするよ！



開催日時 2018年7月29日(月) 10:00~15:00

お天気 晴れ・とっても暑い！

参加者 小学生15名 講師 山本牧(もりなつと北海道)

協力 円山動物園職員・飼育員

プログラムレポート

●顔の骨からわかる動物たちのくらし

まずは講師の山本牧さんが動物の顔つきについて話をしてくれた。目の位置や大きさ、花の大きさ、口や歯の形から、どんな生き方をしている動物なのか分かるんだって。大きく分けると、獲物を追いかける「追っかけ顔」、肉食動物から逃げる「逃げ顔」、において食べ物を探す「探し顔」なんだって。動物園の動物たちがどんな顔なのかしっかり見ておこう。



●動物園の森へ。生き物たちとの出会い

暑いけど森に行こう！真夏の森で虫たちを観察したよ。道路で水を飲むスジグロシロチョウや草の上で休むシジミチョウ、倒木の下にはワラジムシ、地面を歩くザトウムシ、乾いた砂にはウスバカゲロウの幼虫(アリジゴク)、そして2日前にしかけた畠には動物の死体などを食べるシテムシやゴミムシの仲間などなど、いろんな虫たち。みんな生き方や食べ物が違うんだ。



●どんぐりの子どもたちは1mを超えたよ

午後、牧さんからヒグマの話聞いた後にどんぐりの苗床へ。春先は膝よりちょっと上くらいだったのに、なんと腰より高くなっていったよ。1m以上になった苗もあった。苗は満員電車みたいにぎゅうぎゅうで健康に良くないみたい。秋になったら苗の引っ越しをして、もっと元気に育つようにしようと思んなで話したんだ。



裏面につづく





つづき

●ヒグマの餌を見てみよう

次は動物園のヒグマを見に行ってきたよ。飼育員さんから見せてもらったヒグマの餌は、野菜とか果物でお肉は全然なかったのが驚きだった。山本牧さんも話してくれたんだけど、ヒグマはほとんど草食なんだね。生きているお魚をヒグマ舎の池に入れてやることもあるんだけど、ちょっとしか食べないんだって。じゃがいもは嫌いらしいよ。



●どんぐりの赤ちゃんが！

毎回見に行っているクヌギの木(北海道にはもともと生えていない)を観察。クヌギの実の小さいのをたくさん見ることができた。でも、それよりゴキブリを発見してしまった驚きの方が大きかったかな。ほかのミズナラの木にもどんぐりの赤ちゃんがついていた。クヌギにもミズナラにも、秋にはどんぐりがたくさん生っているに違いない！



●動物園の動物たちが食べているものは

暑くてぐったりなんだけど、最後に動物園の餌を管理している冷蔵庫と冷凍庫に入れてもらってシャキッと元気出た！大きな冷蔵庫には野菜や果物、草がいっぱい！ジャムやはちみつやあんこもあって、これは動物に薬をやるときに使うスペシャルな食べ物なんだって。薬がバレると食べてくれないから、飼育員さんもいろいろ工夫して大変みたいだ。冷凍庫には馬のお肉やネズミ、魚などが、やっぱりたくさん詰まっていたよ。



●ふりかえり

森の中ではたくさんの生きものたちに出会えた。アリジゴクやゴミムシ、それからゴキブリにも会ったよ！北海道にもいるんだなあ。

どんぐりの苗は3年で1mくらいに育っていた。次回どれくらい育っているか、また高さを測るのが楽しみ。

動物たちの餌を入れる冷蔵庫は涼しかったし、いろんな動物の食べ物があることがわかった。動物は顔つきをみると食べ物や暮らし方がわかる。どんな暮らしをしているのか、想像しながら観察してみよう。

次回は実りの秋！どんな生きものに会えるかな？



おわり

次回のどんぐりプロジェクト 2019

発見！ 木の実の生き残り大作戦！
実る・つなぐ！ 木の実と動物のつながりを知ろう、
タネの秘密もじっくり観察

秋
9/23(月・祝)
10:00~15:00

※申込み締め切り：9/13(金)

- 集合時間 / 9:45 (受付開始 9:30~)
- 集合場所 / 円山動物園正門前 (動物園プラザ入口)
- 定員 / 先着 20 名 (小学 3 年生以上)
- 参加費 / 一人 500 円
- 持ち物 / お弁当、飲み物、天候に合わせた服装 (雨具、長靴など) 筆記用具、虫除け



お申込

「どんぐりプロジェクト2019」と明記の上、参加者全員の ①郵便番号、住所 ②氏名(フリガナ) ③年齢・学年 ④電話番号 ⑤メールアドレスを記入し、メールまたは FAX、ハガキでお申込ください。

メール csapmori@todock.coop FAX 011・671・5743

はがき 〒063-8501 札幌市西区発寒 11 条 5 丁目 10-1 コープさっぽろ基金事務局

※お申込の際にいただいた個人情報は、コープさっぽろからの資料の発送やご連絡のみに使用いたします。

メールはこちらのQRからどうぞ





どんぐりプロジェクト2019

秋

実る・つなぐ！木の実と動物のつながりを知ろう、タネの秘密もじっくり観察



どんぐりプロジェクト2019は…

北海道の森のチカラと、そこで生まれるいのちのつながりを学び、円山のどんぐりや木のタネを植えて、未来の森を育てる人になりましょう。環境を守る知恵とパワーを身につけた、子どもレンジャーになりませんか？
年4回の円山動物園で行われるプログラムです。

今回のテーマは…

秋の森で木の実を観察しよう。どんな木の実があって、それはどんな作戦で生きのびているのかを探るよ。動物たちが木の実の生存戦略にどんなふうに関わっているのかもポイントだ。

開催日時 2019年9月23日(月・祝) 10:00~15:00

お天気 雨(台風がやってきた)

参加者 小・中学生12名 講師 山本 牧(もりねっと北海道)

協力 円山動物園職員・飼育員

プログラムレポート

●秋に大忙しの森の動物のお話

今回もまずは講師の山本さんから森の動物たちのお話。リスにはエゾリスとシマリスがいて、それぞれ住んでいるところが違うんだって。暮らし方の違いは体の作りの違いにも表れる。秋は冬越しのために、動物たちは大忙し。木の実を食べられるだけでなく、動物に遠くまで運んでもらったり、たくさん実をつける年を決めて食べられすぎないようにしたりと、木の実も生き残りの作戦を考えているらしいよ。



●雨の森で木の実を探そう

台風の影響で森も大雨！びしょびしょになりながらも、大きななめくじを見つけたりオオウバユリのタネを観察したり、トチノキの実やクルミを拾ったりしたよ。そうそう、どんぐりが地面を埋め尽くすほど落ちていた。今年はどうもり豊作なんだって！



●動物園でリスの行動を見る

動物園のエゾリスたちにどんぐりをあげるところを見せてもらったよ。どんぐりをもらおうと、いっせいにみんな手に持って食べていたのがかわかった。食べきれない分は地面を掘って隠していた。そうして隠した場所を忘れてしまうことがあって、そこから芽が出て木が育つんだって教えてもらった。だからリスたちも森づくりをしているんだね！



裏面につづく





つづき

●タネのひみつとヒグマのくらしの最新事情

部屋に戻ってお昼ご飯のあとは講師の木村さんがいろんなタネを見せてくれたよ。タネにも形がいろいろあって、植物なのにそれぞれ生き残るために考えていることが違うのがおもしろい！ そのあとは山本さんのスライドショー。今度はヒグマのお話をしてくれたよ。最近はエゾシカが増えたからクマの暮らしも変わってきたんだって。クマは冬眠するもの、と思っていたけど、冬眠しないで過ごすクマも最近はいららしい。冬眠するかしないか、選べるなんて便利だなあ。



●どんぐりの苗はどうなってる？

もういちど雨具を着て外へ。今度はどんぐりの苗畑のチェック。本当は苗を掘り上げて間引く予定だったけど、雨がひどいので今回は見るだけに。苗は夏とあまり変わらない大きさだったけど、掘り上げて見せてもらったどんぐりの木の根っこはとても大きくて深くてびっくりした。木の根に栄養を貯めるからこんなに根っこが大きいんだって。



●動物園のヒグマは何を食べるの？

動物園のヒグマ舎でもどんぐりをあげてくれていたよ。クマはあちこちに隠されてるごはんを探して、最後は目の前の観察スペースでどんぐりを食べてくれて迫力いっぱいだった！動物園では秋にはフルーツを増やしたりオオナゴ（イカナゴ）をやったりして体重を増やして冬に備えるんだって。野生のクマと違ってサケは食べないらしいよ。



●ふりかえり

今回は雨だったので森もあまり歩けなかったけど、動物園では普通なら昼間は寝ていることが多いネズミやモモンガが活発に動いているのを見ることができたり、雨ならではの円山の森を楽しんだよ。森の中ではヒラヒラしたタネ（オオバユリのタネ）があったり、トリカブトが咲いていたりした。トリカブトは毒だから食べちゃダメだって。エゾリスは木の上で、シマリスは地面で暮らしていることも知らなかった。同じリスでも生き方が違うんだなあ。次回は雪の中をスノーシューで歩いたり、動物の暮らしを見たりするのが楽しみ！



おわり

次回のどんぐりプロジェクト2019



冬の森の動物たちの暮らしを探る！
スノーシューで雪の森の中へ、
いきものたちの冬を生き抜く
作戦を知ろう！



1/11 (土)
10:00~15:00

※申込み締め切り：12/27 (金)

- 集合時間 / 9:45 (受付開始 9:30~)
- 集合場所 / 円山動物園正門前 (動物園プラザ入口)
- 定員 / 先着 20 名 (小学 3 年生以上)
- 参加費 / 一人 500 円
- 持ち物 / お弁当、あたたかい飲み物、天候に合わせた服装 (防寒具、手袋など)、筆記用具

お申込

「どんぐりプロジェクト2019」と明記の上、参加者全員の ①郵便番号、住所 ②氏名(フリガナ) ③年齢・学年 ④電話番号 ⑤メールアドレスを記入し、メールまたは FAX、ハガキでお申込ください。

メール csapmori@todock.coop FAX 011・671・5743

はがき 〒063-8501 札幌市西区発寒 11 条 5 丁目 10-1 コープさっぽろ基金事務局

※お申込の際にいただいた個人情報は、コープさっぽろからの資料の発送やご連絡のみに使用いたします。

メールはこちらのQRからもどうぞ





どんぐりプロジェクト2019

冬

冬の森の動物たちの暮らしを探る！

スノーシューで雪の森の中へ、 いきものたちの冬を生き抜く 作戦を知ろう！



どんぐりプロジェクト2019は…

北海道の森のチカラと、そこで生まれるいのちのつながりを学び、円山のどんぐりや木のタネを植えて、未来の森を育てる人になりましょう。環境を守る知恵とパワーを身につけた、子どもレンジャーになりませんか？
年4回の円山動物園で行われるプログラムです。

今回のテーマは…

冬の森、動物たちがどんな暮らしをしているのかを想像してみよう。雪に残った足跡や木の実、木の芽の冬のくらしを観察するよ。動物や鳥について、頭の骨やくちばし、脚の形を見ながら生き残る作戦についても学びます。

開催日時 2020年1月11日(土) 10:00~15:00

お天気 晴れ、雪が少ない

参加者 幼児~中学生9名 講師 山本 牧 (もりねっと北海道)

協力 円山動物園職員・飼育員

プログラムレポート

●冬の動物たちはどんなふうにご覧しているの？

講師の山本さんがスライドで教えてくれる森の動物たちの冬の過ごし方。ヒグマの冬眠のお話や、ウサギが追ってくる動物から逃げるためにわざと足跡を後戻りしたり、同じリスでもシマリスは冬眠するしエゾリスは冬の森でえさを探しながら過ごすことなどを学んだよ。



●雪の森、生き物たちの気配をさがす

円山動物園の森をスノーシューで歩く予定だったのだけど、雪が少なすぎていつもの遊歩道を歩くことに。凍った池の上を歩いたり、寒さから身を守る木の冬芽を観察したりしたよ。ヤドリギという寄生植物の実を食べた鳥のうんちを発見！糸を引いてネバナバしてヤドリギの種が入っていた！このネバナバで他の木の枝にくっついて、そこで芽を出して寄生するんだって。植物の生き残り作戦、すごい！



●骨の形を見て動物の暮らし方を知る

室内にもどってお昼ご飯のあとはまた山本さんのスライドからスタート。いろんな動物の頭の骨の写真を見せてくれたよ。ライオンやクマなどの肉食動物と草食の動物は目の位置や見る方向がぜんぜん違う。暮らし方によって顔の形が違ってくるんだね。小さな鳥と大きなワシの顔つきも全然ちがう。鳥にも強い脚のもの、長い脚のもの、いろんな形と生き方があるんだね。



裏面につづく



つづき

●毛皮や頭の骨をさわってみる

目の前には本物の動物の頭の骨や毛皮が！ 間近で見ると、肉を切り裂く鋭い歯や植物をすりつぶす丈夫な歯だったり、目が前についていたり横についていたり外から見ただけではわからない動物のみつがよくなるよ。毛皮もふわふわなものやごわごわなものがあるんだね。襟巻きにするならキツネがいい。シカの毛皮は毛が太くてあまり手触りが気持ちよくなかったよ。



●オオワシのひみつ。北海道はやっぱり特別！

今回は動物園のオオワシの飼育員さんに話を聞いたよ。オオワシなどのワシの仲間はメスの方がオスよりも大きいんだって。それから、歳をとると白っぽくなるらしい。大人の羽根になって子どもを育てるようになるまで6年もかかるのもおどろきだ。子育ては北海道より北のロシアでするんだって。冬は過ごしやすい北海道まで渡ってきて、春になるとロシアに子育てに戻る暮らしをしている。だから、日本でオオワシを見られるのは冬の北海道だけ。北海道はやっぱりスペシャルなんだ！そんなオオワシだけど、数が減って絶滅の心配もあるんだそう。大切に守っていききたい生き物なんだね。



●冬の動物園の動物たちを観察

オオワシのあとは冬の動物たちの姿を見に行ってきたよ。シカは夏とは違う毛色だし、角も立派！ひとまわり大きくなっていったよ。クマは元気に歩いていただけ、そういえば動物園ではどうして冬眠してないんだろう？



●ふりかえり

雪が少なく森をスノーシューで歩けなかったのは残念だったけど、たくさんの野生動物の足跡など、冬の生き物の気配を感じることができたよ。中でもやっぱり鳥のうちには驚いた。みんなで味見したトチノキの実も衝撃的な苦さだったよ。飼育員さんのお話では、オオワシが魚を食べることや、一度に二つの卵を産むけど、そのうち育てるのが一羽だけっていうことに驚いた。自然は厳しいんだね。次回は春の森！森で見たオオバユリの種がどうなっているか、春の生き物はどんな暮らしをしているか、そしてどんぐりの苗がどうなっているのか、今から春が待ち遠しいね！



おわり

どんぐりプロジェクト2020 予告

夏休みの自由研究も！！



食べる・育つ！
ざわめく生きものたちの
夏の暮らしを追跡しよう

暑い夏は、生きものたちにとっても大変な季節。動物たちはどんなふうに関わり合っているのか見に行こう！

7/27(月)
10:00~15:00

※申込み締め切り：7/17(金)

- 集合時間 / 9:45 (受付開始 9:30~)
 - 集合場所 / 円山動物園正門前 (動物園プラザ入口)
 - 定員 / 先着 20 名 (小学 3 年生以上)
 - 参加費 / 一人 500 円
 - 持ち物 / お弁当、飲み物、筆記用具
- 天候に合わせた服装 (防寒具、長靴など)、



お申込

「どんぐりプロジェクト2019」と明記の上、参加者全員の ①郵便番号、住所 ②氏名(フリガナ) ③年齢・学年 ④電話番号 ⑤メールアドレスを記入し、メールまたは FAX、ハガキでお申込ください。

メール csapmori@todock.coop FAX 011・671・5743

はがき 〒063-8501 札幌市西区発寒 11 条 5 丁目 10-1 コープさっぽろ基金事務局

※お申込の際にいただいた個人情報は、コープさっぽろからの資料の発送やご連絡のみに使用いたします。

メールはこちらのQRからもどうぞ

